第４章

今後のまちづくりの進め方

1. 計画の目標
2. 今後の進め方

1 計画の目標

(1) 指標設定の考え方

本地区では、将来像である「なつかしさと新しさが交わる　安全・安心・すみよいまち」を目指し、ハード・ソフト両面でまちづくりの取組を進めていきます。しかし、将来像が示す状況とは、計画に基づく取組の実施により物理的にまちが変わるだけでは不十分であり、その変化が地区住民をはじめとした本地区に関わる人々に受け入れられ、効果を感じてもらえることが必要です。つまり、将来像の実現のためには、住民に、「鐘ヶ淵に住んでいて良かった」「これからもここに住み続けたい」、そして「やっぱりよかった」と感じてもらえることが重要となります。そのため、本計画の達成状況の確認においては、取組そのものの進捗だけでなく、その効果を地区住民が感じられているかを指標として設定し、その状況を把握することとします。

区が継続して実施している「墨田区住民意識調査」は、住民がそこに住んでいてどう感じているかを問うアンケートであり、経年変化を確認する上でも有用であることから、当該アンケート調査の結果を数値指標に設定します。

本計画はまちの将来像を示し、その実現に向けた取組の内容を整理していますが、取り巻く環境へ対応していくため、10 年後を目途に計画改定を予定しています。そのため、目標についても、10 年後の中間目標と、最終的な目標値と設定することとし、適時状況を把握していきます。

(2) まちづくりの視点ごとの目標値

数値指標はまちづくりの６つの視点毎に設定し、墨田区住民意識調査※1 の調査区分※2 より、本地区を含むＡブロック（東向島四～五丁目、堤通二丁目、墨田一～五丁目）における数値を採用します。

なお、目標設定にあたっては、令和６年調査時の値を基準とし、中間目標はおおむね 10 年後として設定します。

※１　墨田区住民意識調査：区民からの意見を区政運営に役立てるため、区が隔年で実施している意識調査
集計結果は評価点として集計（評価点は-2.00 点～+2.00 点の間に分布し、0.00 点が中間点、+2.00 点に近いほど評価は高く、逆に-2.00 点に近いほど評価が低いことを示しています）
※２　調査区分　：住民意識調査の集計区分で、北部地域５地区、南部地域３地区の計８地区に分類しているもの

交通ネットワークを整える

鉄道立体化をはじめとした、交通に関する取組を進めることにより、住民に交通の便が良くなった、安全性が高まったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
交通の便に関する評価点	0.83 Ａブロックは第８位	↗ 0.95 第７位以上	↗ 1.16 区北部平均以上
交通の安全性に関する評価点	0.20	↗ 0.23 区北部平均以上	↗ 0.29 区平均以上

災害に備える

地震・火災・水害に対応したまちづくりを進めることにより、災害時の安全性が高まったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
災害時の安全性に関する評価点	-0.14	↗ -0.11 区南部平均以上	↗ 0.00
不燃領域率	58.9% 令和４年現在	70.0% 整備地域における目標値	70.0% 整備地域における目標値

にぎわいをつなぐ

駅周辺の再整備や鐘ヶ淵通り沿道への店舗などの誘導により、買い物がしやすいまちになったと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
買い物の便に関する満足度	0.77 Ａブロックは第８位	↗ 0.82 第７位以上	↗ 1.04 区北部平均以上

うるおいを取り込む

新たな公園・広場を確保するとともに、公園や荒川等へ移動しやすい環境を整備することにより、うるおいを感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
公園・遊び場に関する評価点	0.41 Aブロックは第8位	↗ 0.54 第7位以上	↗ 0.57 区北部平均以上
住宅市街地総合整備事業で整備する公園等の面積	0m²	—	2,000m²

住環境を維持・向上する

子育て世帯や若年世帯に選ばれる居住地づくりや、地域に住み続けられる仕組みづくりにより、住環境向上の実感や、住み続けたいと感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
定住意向を持つ割合（ずっと住み続けたい・当分の間は住み続けたい）	85.7%	↗ 87.5% 区平均以上	↗ 89.3% 第1位
生活環境に関する総合点	0.36	↗ 0.37 区北部平均以上	↗ 0.41 区平均以上

地域への愛着を深める

本地区のアイデンティティを大切にしながら、まちづくりの検討を進めていくことにより、地区の良さを感じてもらうことが大切と捉え、次の目標を設定します。

指標	基準	中間目標	最終目標
隣近所の人情に関する評価点	0.46 Aブロックは第2位	↗ 0.53 第1位	↗ 向上 第1位を維持
景観・まちなみに関する評価点	0.32	↗ 0.33 区北部平均以上	↗ 0.37 区平均以上

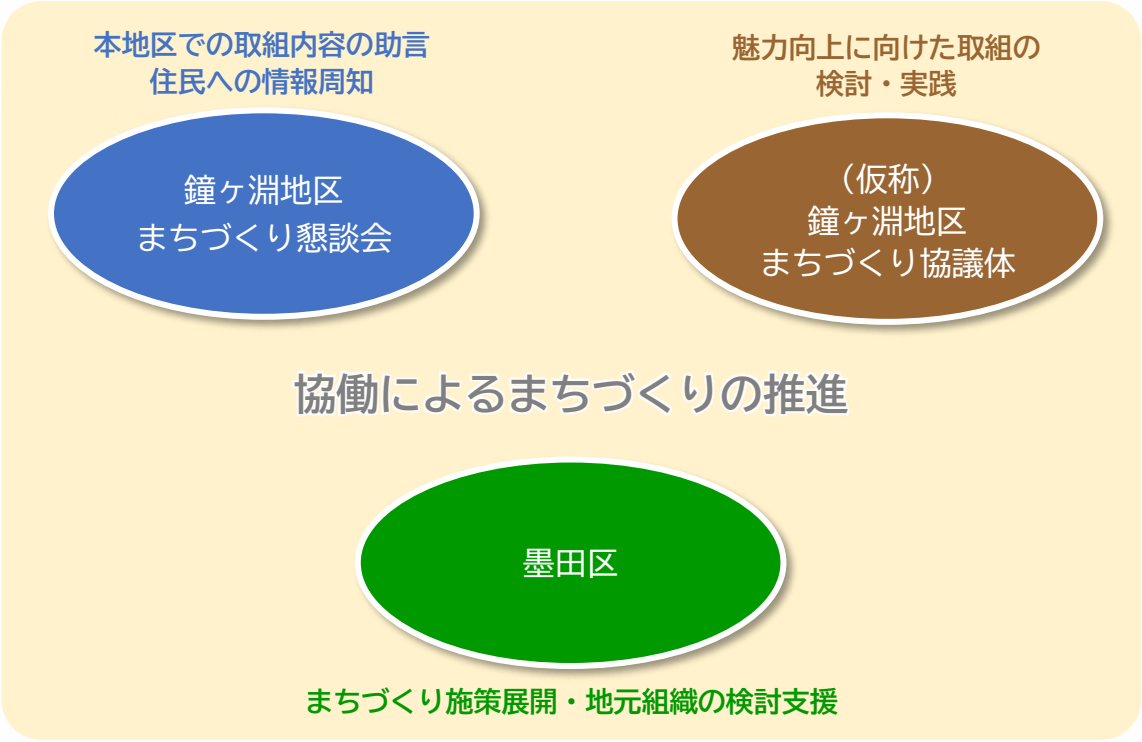
2 今後の進め方

(1) まちづくりの推進体制

本地区では、防災まちづくりを推進していくための地元組織として、地元町会・商店会・小学校 PTA から選ばれた委員と都区の行政職員からなる「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会（以下「懇談会」という。）」が組織されています。

本地区のまちづくりは、引き続き懇談会と区が連携して進めていきますが、地区住民を含めた様々な主体が参加するまちづくり組織（（仮称）鐘ヶ淵地区まちづくり協議体）を立ち上げ、「将来像実現に向けた６つの視点」として挙げたテーマに対して検討・提言をいただき、官民協働により本地区の魅力を高めるための取組を検討していきます。

図 4-1. 本地区におけるまちづくりの推進体制



(2) 鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会

懇談会は、本地区において、災害に強く、うるおいと活気に満ち、安心して暮らせるまちづくりの推進を目的とし、平成 12 年度に発足した地元組織です。

懇談会は地区内の町会・商店会・小学校 PTA からの選出委員及び行政職員により構成されており、まちづくり計画に関することや地区内の防災まちづくりの取組について内容の確認や行政に対する助言などを行っています。

図 4-2. 第 44 回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会の様子

出典：墨田区ホームページ

(3) 地元への情報周知

本地区におけるまちづくりの進捗や検討状況については、おしらせ・ニュースなどを地区内各戸へ配布したり、鐘ヶ淵まちづくり掲示板への掲示を行う他、墨田区ホームページや SNS などへの掲載を行うなど、継続的に情報発信を行います。

また、パネル展など、まちづくりについて区から直接ご説明し、意見交換できる場についても適宜開催していきます。

図 4-3. 鐘ヶ淵地区まちづくりニュース第 40 号

第40号　第1面　　令和5年(2023年)6月

鐘ヶ淵地区まちづくりニュース

発行：鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会 ／ 事務局：墨田区都市計画部密集市街地整備推進課　℡ 03-5608-6260

◇◇　第44回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催されました　◇◇

令和5年5月12日（金）に第44回鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会が開催されました。当日は、鐘ヶ淵地区まちづくりの活動経過と今後の取組み、補助第120号線（鐘ヶ淵通り）拡幅事業の進捗、踏切安全対策、懇談会委員変更の説明がありました。

主な内容は以下のとおりです。

まちづくり懇談会当日の様子

1　鐘ヶ淵地区まちづくりに係る活動経過と今後の取組みについて（墨田区報告）

◆鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくりパネル展の開催

住民の皆さまからまちの現状に対するご意見を頂くため、令和5年1月20日から23日の4日間にわたりパネル展を開催しました。合計179名と多くの方にご参加いただきました。パネル展で実施したアンケートでは「踏切解消」と「水害対策」が鐘ヶ淵駅周辺地区における重要課題であると考えている方が多いという結果になりました。また、「商業の衰退」や「生活サービス機能不足」に対する意見も多くありました。

引き続き、密集市街地の課題である「細街路の整備」や「老朽木造建築物の解消」と共に、これらの課題をいち早く解消するため、今後も住民の皆さまのご意見をお聞きしながら検討を進めていきます。

卓上アンケートの結果

◆今後の取組み

【鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定】

平成28年に策定した「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」について、近年の環境の変化を捉え、住民の皆さまからいただいたご意見やまちの課題の効果的な解決を目指し、令和6年度内に改定を行います。

現鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画

【交通ネットワーク構想の策定】

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定に合わせて、駅周辺の歩行者、自転車、自動車に関する交通ネットワークのあり方や駅前広場の整備方針等について整理した構想を策定します。

【参考】交通ネットワーク構想（板橋区大山駅）

【「まちの将来像」の確立を目指した協議の場の設定】

まちづくりの推進に向けて、今後さらに幅広いご意見を住民の皆さまから頂くために新しい協議の場を設けたいと考えていることをまちづくり懇談会で報告しました。
詳細が決まりましたら、区のHPなどで改めてお知らせします。

地区における個別の課題を…　「まちの将来像」の確立により束ねていきます！

●●●●裏面に続きます！

出典：墨田区ホームページ